

第 35 回都市公園等コンクールにて、 国土交通省都市局長賞を受賞しました！

都市公園等コンクールは、都市公園等の設計、施工、材料・工法・施設、管理運営において特に優秀な作品について表彰を行うものです。（主催：一般社団法人 日本公園緑地協会）
このたび都筑区緑道再整備ガイドラインの策定が、**国土交通省都市局長賞**を受賞しましたので、お知らせします。

○ 受賞結果

■ 国土交通省都市局長賞 管理運営部門

〔受賞作品〕 都筑区緑道再整備ガイドラインの策定

〔受賞団体〕 横浜市都筑区、株式会社景デザイン研究所

整備後 30 年が経過した港北ニュータウンの緑道は、利用ニーズの多様化や経年の劣化等の課題から、どのように次世代に継承していくかが課題となっていました。そこで、行政と市民・利用者がグリーンマトリックスシステムの理念を活かしつつ現在の社会情勢と調和した再整備を行うため、市民・利用者との対話を通じ、再整備手法をガイドラインとしてまとめたこと、それにより緑道のあるべき姿について議論することで、まちの魅力を高めることが可能になったことが評価されました。

※グリーンマトリックスシステムとは、緑道を主骨格に公園や民有緑地をつないだ緑地ネットワークです。



意見交換会の様子
緑道の魅力や課題、普段の様子など、参加者の活発な議論が行われた。



令和元年 10 月 25 日（金）に開催された
「ひろげよう 育てよう みどりの都市」全国大会に
おいて、表彰式が行われました。

都筑区緑道再整備ガイドラインは都筑区ホームページで公開しています。
(https://www.city.yokohama.lg.jp/tsuzuki/kurashi/machizukuri_kankyo/jimusho/gesuido/saiseibi/saiseibi.html)

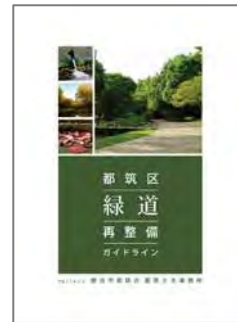


QR コード

裏面あり

■都筑区緑道再整備ガイドラインの内容

- 港北ニュータウンの緑道の再生や維持管理を進めていくための技術指針です。
- 再整備の担当者が知っておくべき基本知識や進め方、設計の際の参考となる事例を体系化するとともに、区民利用者とも共有できます。
(ホームページで区民にも広く周知)
- 全3章で構成しています。
 - 1章：当初整備時の設計意図や現状と課題を分析
 - 2章：再整備の基本的考え方や区民利用者との合意形成プロセス
 - 3章：施設の改修の考え方や具体的な施工事例の紹介



ガイドライン表紙

図：ガイドラインの内容抜粋

- A 緑道当初整備の意図や特徴を解説
- B 多様な利用者像とそのニーズを図化
- C (左) 利用者の特性に応じ緑道をゾーニング (右2つ) ゾーンごとの標準再整備断
- D 施設ごとの具体的な改修事例 イラストを用いて解説。

■ガイドラインの策定のプロセス

- 平成 29 年度より策定を開始。全5路線の緑道での市民意見交換会や、開発に携わった関係者への聞き取り調査などを行いながら策定しました。
- ゾーニングや具体的な整備手法については、土木事務所職員の現地調査や、実際の工事での工夫例をもとに策定しました。
※ゾーニングとは、一定の区間(ゾーン)ごとに、その場の特性に応じた方針を立てる手法です。

■ガイドラインの策定による効果

- 緑道の魅力を活かし、多様な利用者ニーズを満たす再整備を行うことで満足度が向上します。
- 上記のような整備を経験の浅い担当者でも行うことができ、業務の効率化を図ることができます。
- 港北ニュータウン整備当時の資料などを集約したことで、技術継承にも効果が期待できます。

お問合せ先	
都筑土木事務所副所長	水上 典男 Tel 045-942-0606